

2025 年 9 月 16 日

コンサルタント会社 御中

一般社団法人 日本ダクトイル鉄管協会関東支部

2025 年度 ダクトイル鉄管技術講習会のご案内

拝啓 白露の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は日本ダクトイル鉄管協会に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会関東支部では、上下水道管路の更新をめぐる様々な状況の中、上下水道管路の更新促進並びに高機能化を目指すべく、ダクトイル鉄管の技術的検討および広報活動を継続的に行っております。

その活動の一環として、弊協会関東支部におきまして、今年度もコンサルタント会社の皆様を対象に「ダクトイル鉄管技術講習会」を下記の要領にて開催することに致しましたので、多数様のご参加をお待ちしております。

敬具

1.日時、講習内容

	実施日	時間	講演テーマ	対象	備考
第 1 回	7 月 4 日(金) 実施済	13:00～17:00 (12:45 より受付)	テーマ① ダクトイル鉄管の基礎知識	実務経験の 浅い方	筆記用具、 電卓が必要
			テーマ② 管路設計上の留意点		
第 2 回	9 月 12 日(金) 実施済	13:00～17:00 (12:45 より受付)	テーマ① 耐震型ダクトイル鉄管の概要と設計上の 留意点	設計実務者	筆記用具、 電卓が必要
			テーマ② GX 形の設計演習		
第 3 回	10 月 10 日(金) 今回申込み	13:30～16:45 (13:15 より受付)	テーマ① マンホール蓋試験検証施設の見学 (展示室見学、すべり実験、水理モデル実験、 マンホール蓋浮上試験、現品紹介等)	全ての方 (下水道分野に 限りません)	—
			テーマ② 下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率 的な調査技術 導入ガイドライン(案)のご紹介		
第 4 回	11 月 20 日(木) 後日申込み	13:00～16:40 (12:45 より受付)	テーマ① ダクトイル鉄管の製造現場の見学	全ての方	作業服が必要
			テーマ② GX 形の接合デモンストレーション 接合実習、施工管理システム		

注) 第 4 回は、後日改めてご案内致します。

また、講演テーマおよび日程等が変更になる場合がありますのでご了承願います。

2.会場

株式会社 G&U 技術研究センター

住 所：埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157

電話番号：TEL049-299-1028

***アクセスは別添資料をご参照ください。**

注) 次に予定している第 4 回はクボタ京葉工場（船橋市栄町 2-16-1）

3.参加費

講習会の受講費は無料です。

（ただし、会場までの交通費等は各自でご負担願います。）

4.参加申し込み

添付「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、10 月 1 日（水）までに、「参加申込み用メールアドレス」にメール送信をお願いいたします。

お申込みいただいた場合には、参加申込みメール受信後 1 週間以内に弊協会より申込み受付完了のメールを返信いたしますので、弊協会より申込み受付完了メールが返信されない場合は、宍倉までお問合せをお願いいたします。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、1 社当たりの参加人数を 4 名様までとし、参加申込み数が定員になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

※今回の G&U 見学会の定員は、30 名となります。

「参加申込み用メールアドレス」

y-shishikura@jdpa.gr.jp（日本ダクタイル鉄管協会 関東支部 宍倉）

5.連絡先

何かご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

日本ダクタイル鉄管協会 関東支部 宍倉 TEL 03-3264-6655

6.スケジュール

第3回／10月10日（金）

時 間	内 容	講 師	備 考
13：15～13：30	受 付		15 分
13：30～13：40	開催挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	10 分
13：40～15：40	マンホール蓋試験検証施設の見学 (展示室見学、すべり実験、水理モデル実験、マンホール蓋浮上試験、現品紹介等)	G&U 技術研究センター 説明員	120 分
15：40～15：50	休 憩		10 分
15：50～16：30	下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な 調査技術 導入ガイドライン(案)のご紹介	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	40 分
16：30～16：40	休 憩		10 分
16：40～16：45	閉会挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	5 分

注) 第4回開催予定のスケジュールについては、後日、ご案内いたします。「ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内」にてご確認ください。

7.CPD プログラム認定について

本技術講習会では CPD プログラム認定は実施しておりません。
ただし、ご希望の方には受講証明書を発行いたします。

8.新型コロナ対策について

【ご来場時】

- 会場に入る前に、手洗い・手指消毒のご協力をお願い致します。
- 会場内でのマスクの着用は個人の判断にお任せします。

受講中、体調が悪くなった際は無理せず弊協会関係者にお申し出ください。

【参加申込書】

一般社団法人 日本ダクトイル鉄管協会

関東支部 宍倉 行き

申込みメールアドレス： y-shishikura@jdpa.gr.jp

「2025 年度 ダクトイル鉄管技術講習会」参加申込書

下記のとおり、参加を希望いたします。

- ・所属会社・部署名と氏名を下表にご記入願います（経験年数は任意）。
- ・参加人数は4名様までとし、参加申込み数が定員となり次第、申込みを締め切らせていただきます。
- ・申込み完了後の変更については、「y-shishikura@jdpa.gr.jp」までご連絡をお願いします。

※参加申込みの代表者氏名（問合せ窓口）：

電話番号（当日連絡用）：

実施日	会社・部署名	氏名	経験年数	受講証明書	駐車場 ※必要時は台数
第3回 10月10日 (金)				必要・不要	必要・不要 ()台
				必要・不要	
				必要・不要	
				必要・不要	

注) 第4回の技術講習会の参加申込みは、後日、改めてご案内いたします。

以上

会場までのアクセス

電車・バスでお越しの方へ

JR 埼京線、東武東上線の「川越駅」で下車

▶川越駅からバスに乗る場合（次ページ参照）

川越駅東口のバスターミナル4番乗り場

川越 03「鴻巣免許センター行き」に乗り「川島農協前」下車

▶川越駅からタクシーに乗る場合

川島駅東口から約30分（約3300円）

「JA 埼玉中央 川島支店の向かいまで」と言うと分かりやすいです。

西武新宿線の「本川越駅」で下車

▶本川越駅からバスに乗る場合（次ページ参照）

本川越駅前のバスターミナル5番乗り場

川越 03「鴻巣免許センター行き」に乗り「川島農協前」下車

▶本川越駅からタクシーに乗る場合

本川島駅前から約30分（約3000円）

「JA 埼玉中央 川島支店の向かいまで」と言うと分かりやすいです。

JR 高崎線の「鴻巣駅」で下車

▶鴻巣駅からバスに乗る場合（次ページ参照）

鴻巣駅西口の1番乗り場

川越 03「川越駅行き」に乗り「川島農協前」下車

JR 高崎線の「桶川駅」で下車

▶桶川駅からタクシーに乗る場合

桶川駅西口から約20分（約3500円）

「JA 埼玉中央 川島支店の向かいまで」と言うと分かりやすいです。

車でお越しの方へ

- 関越自動車道下り⇨鶴ヶ島JCT⇨圏央道川島ICを降りて川越方面へ向う国道254号線に入る。

「上伊草交差点」を左折し「平沼交差点（旧消防組合前交差点）」を通過しすぐ左。

JA埼玉中央川島支店の向かい。（川島ICを降りて約7分）

- 群馬方面から関越自動車道上りでお越しの方は、東松山ICを降りて、国道254号線を川越・川島方面へ向かい「中山交差点」を左折し「平沼交差点（旧消防組合前交差点）」を左折しすぐ左。

JA埼玉中央川島支店の向かい。（東松山ICを降りて約25分）

公共バスのご利用案内

●川越駅、本川越駅から

乗車： 4 番乗り場
川越 03 鴻巣免許センター、鴻巣駅西口行き
降車： 川島農協前
運賃： 460 円
時間： 約 30 分

川越駅発		4 番乗り場	
時	分	川越駅	
8			
9			
10	35		
11			
12	35		
13			
14	00		
15			
16	00		
乗車： 5 番乗り場		5 番乗り場	
本川越駅発		本川越駅	
時	分		
8			
9			
10	38		
11			
12	38		
13			
14	03		
15			
16	03		

●鴻巣駅から

乗車： 1 番乗り場
川越 03 川越駅行き
降車： 川島農協前
運賃： 510 円
時間： 約 25 分

鴻巣駅西口発		1 番乗り場	
時	分	鴻巣駅東口・西口	
8	43		
9	30		
10			
11			
12	00		
13			
14	08		
15	29		
16			

◇お帰り（川島農協前 発）

川越駅行き		鴻巣駅西口行き (鴻巣免許センター)	
時	分	時	分
10		10	
11		11	00
12	18	12	
13		13	00
14	26	14	25
15	47	15	
16		16	25
17	48	17	
18		18	00 西

無印…鴻巣免許センター（鴻巣駅東口経由）行き
西…鴻巣駅西口 行き

・バスの本数が少ないため、最寄駅からタクシーのご利用をお奨め致します。
・お車での来場も可能ですが、駐車場台数に限りがあり、先着順でのご案内となります(5 台)。
※極力乗り合わせでの来場にご協力をお願いします。

＜参考＞主な見学内容

1. 展示室ご紹介

マンホール蓋は、社会環境の変化や異常気象の増加に伴い、高度な安全性が求められています。これまで開発されてきたマンホール蓋の変遷をたどり、豪雨や老朽化、すべり等のリスクに対し必要とされる性能についてご紹介します。



2. マンホール蓋のがたつきについて

道路に設置されるマンホール蓋は、繰り返しの車両通行により、がたつき、飛散および騒音が発生する可能性があります。道路環境を再現した試験機を用い、マンホール蓋に求められる耐久性についてご紹介します。



3. マンホール蓋のすべりについて

路面は、乾燥している状態より濡れた状態の方がすべりやすくなります。また、アスファルトと蓋とのすべりやすさの違いが大きい程、スリップの危険が高まります。蓋のすべりやすさについて、治具を用いて、乾燥した蓋、濡れた蓋、異なる模様や摩耗状態で、アスファルトとのすべりの違いを体感していただけます。



4. 豪雨時の下水道管路における水理現象について

豪雨によって下水道管路内の圧力が上昇することで、マンホール蓋の浮上・飛散が発生する可能性があります。マンホール蓋の浮上や飛散に繋がる水理現象を水理モデル施設を用いて再現し、豪雨時に管路内を流れる水や空気の動きについてもご覧いただけます。



5. 豪雨時のマンホール蓋の浮上・飛散について

豪雨時に発生するマンホール蓋の浮上・飛散の現象を、実際に浮上飛散防止機能付きと機能なしの2種類の蓋を用いて再現します。空気や水による内圧が、蓋に与える影響や起こる現象の違いをご覧いただけます。

